
五 泉 地 域 衛 生 施 設 組 合
中 間 処 理 施 設 整 備 ・ 運 營 事 業
落 札 者 決 定 基 準

令 和 2 年 7 月

五 泉 地 域 衛 生 施 設 組 合

五泉地域衛生施設組合中間処理施設整備・運営事業 落札者決定基準

目 次

第1章 落札者決定の手順.....	1
1 落札者決定基準の位置付け.....	1
2 決定の手順.....	1
第2章 参加資格審査.....	3
1 参加資格要件の項目.....	3
第3章 提案審査.....	3
1 入札提出書類の基礎審査.....	3
2 提案書の技術審査.....	3
3 開札及び入札価格の確認.....	5
4 入札価格審査.....	5
5 総合評定値の算出方法.....	5
第4章 提案書の技術審査において審査する視点.....	5
第5章 提案書に関するヒアリング.....	8
第6章 審査結果等の公表.....	8

第1章 落札者決定の手順

1 落札者決定基準の位置付け

中間処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の設計・建設、及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「中間処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、五泉地域衛生施設組合（以下「組合」という。）が本事業を実施する事業者の募集及び落札者の決定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された入札提出書類を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 決定の手順

本事業における落札者の決定は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条10の2に規定する総合評価一般競争入札方式に基づき、図1に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

組合は、提出された参加表明書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

① 入札提出書類の基礎審査

組合は、入札提出書類に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。ただし、組合が軽微な不備・不足と考えるものにあつては個別に事業者を確認し、提案書全体に影響を及ぼすような重大な問題がなく、部分的な訂正や対応の確認のみで問題ないと組合が判断したものについてはその限りでない。

② 提案書の技術審査

五泉地域衛生施設組合一般廃棄物処理施設建設に係る建設委員会（以下「委員会」という。）は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

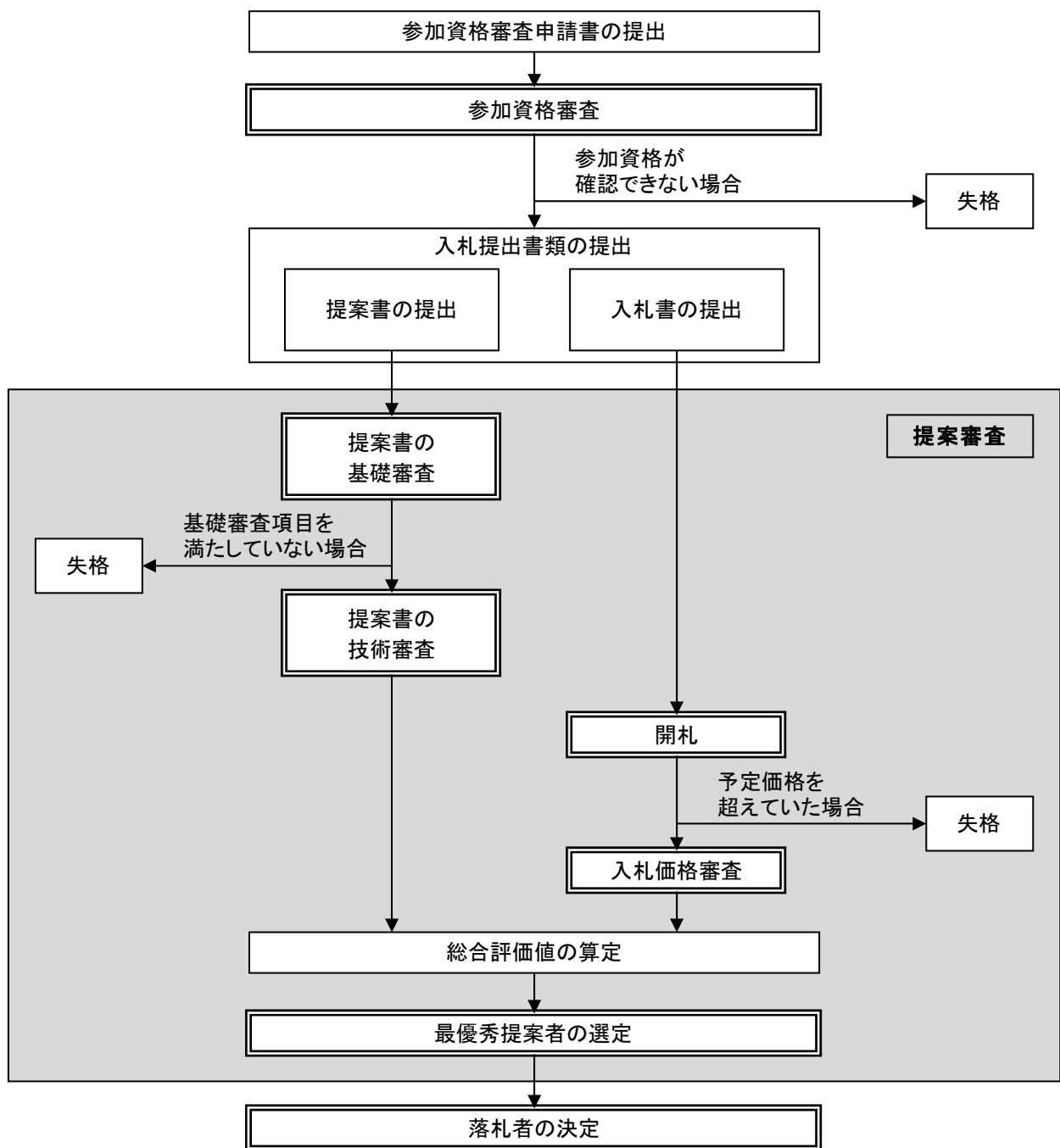
③ 開札及び入札価格の確認

組合は、入札書に記載された入札価格（消費税及び地方消費税を含まない。）が予定価格（消費税及び地方消費税を含まない。）を超えていないことを確認する。この結果、入札価格が予定価格を超える場合は失格とする。

④ 入札価格審査

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

- ⑤ 総合評価値の算定
委員会は、提案書の技術審査及び入札価格審査の得点を合計し、総合評価値を算出する。
- ⑥ 最優秀提案者の選定
委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。
- ⑦ 落札者の決定
組合は、委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※最優秀提案者を選定する委員会の事務は図中網掛け部分(ただし、提案書の基礎審査は組合が実施する。)

図1 落札者決定の手順

第2章 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書を確認する。参加資格審査基準日は、参加表明書受付最終日とする。
詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」を参照のこと。

第3章 提案審査

1 入札提出書類の基礎審査

(1) 入札提出書類の確認

提出された入札提出書類がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

- ① 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。
- ② 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。
- ③ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の技術審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の審査の配点、審査基準及び得点化方法については、組合が定めた5つの基本方針、「1. 安心・安全で安定した施設」「2. 環境に配慮した施設」「3. エネルギーと資源の有効活用に配慮した施設」「4. 地域に密着した施設」「5. 経済性に優れた施設」の実現に向けて、組合が本事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、組合が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 提案書の技術審査において審査する視点」を参照のこと。

表1 審査項目及び配点

大項目	中項目	小項目	細目	No.	配点 (60点)				
1	事業方針に関する事項				3点				
	(1)	本事業の実施方針		1	3点	3点			
2	設計・建設及び運営・維持管理業務に関する事項				35点				
	(1)	安心・安全で安定した施設	ア 施設の安定稼働	① 基本性能の維持	2	3点	20点		
				② 処理システムの信頼性	3	4点			
				③ 日常の運営・維持管理	4	1点			
		イ 施設の安全性	①	トラブルの未然防止・事後対策及び非常時の安全確保	5	4点			
		ウ 配置動線計画	①	屋外配置動線計画	6	3点			
			②	屋内配置動線計画	7	3点			
		エ 建設関連	①	施工計画	8	1点			
			②	建設工事期間中における環境保全対策	9	1点			
	(2)	環境に配慮した施設	ア 周辺環境との共存	①	地域の環境保全	10	4点	5点	
					②	二酸化炭素排出量の削減(定量評価)	11		1点
	(3)	エネルギーと資源の有効活用に配慮した施設	ア エネルギーの有効利用	①	発電効率及び余剰電力量(定量評価)	12	2点	6点	
			イ 環境負荷低減	①	省資源、省エネルギー	13	1点		
			ウ 最終処分量の低減	①	資源化量(定量評価)	14	1点		
				②	最終処分量(定量評価)	15	2点		
	(4)	地域に密着した施設	ア 周辺環境への配慮	①	周辺環境との調和	16	2点	4点	
			イ 環境学習計画	①	地域の活性化と環境学習拠点	17	2点		
3	事業計画に関する事項				22点				
	(1)	信頼性の高い運営管理体制	ア 組織体制	①	組織体制・人員配置計画	18	3点	9点	
			イ 事業の継続性の担保	①	事業収支計画、協力体制	19	3点		
			ウ リスクの管理及び対処方法	①	リスク管理及びセルフモニタリング	20	3点		
	(2)	地元企業や地元住民への配慮	ア 地域貢献	①	地域経済への配慮	21	2点	12点	
					②	地域経済への配慮(本店又は本社)(定量評価)	22		5点
					③	地域経済への配慮(支店又は営業所)(定量評価)	23		2点
					④	地域経済への配慮(地元人材の雇用)(定量評価)	24		2点
					⑤	地元経済の活性化	25		1点
	(3)	その他	ア その他の提案	①	本事業への有効性	26	1点	1点	

(2) 提案書の技術審査に関する得点化方法

- ① 提案を求めている審査項目においては、表2の5段階評価による得点化方法により技術得点を付与する。

表2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.00

- ② 各審査項目の評価点については、次の算定式により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。
- ③ ②の結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式【技術得点算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書に関する技術得点} \end{array} \right) = \frac{\Sigma (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数(11名)}}$$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札価格が予定価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の技術審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札価格が予定価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格について、次の算定式により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式【入札価格の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$$

5 総合評定値の算出方法

「2 提案書の技術審査」「4 入札価格審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書に関する技術得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$$

第4章 提案書の技術審査において審査する視点

委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により技術得点を付与する。なお、各項目の審査の視点は表3のとおりである。

表3 提案書の技術審査において審査する視点

大項目	中項目	小項目	細目	No.	審査の視点	配点 (60点)	
1	事業方針に関する事項					3点	
	(1) 本事業の実施方針			1	・本事業の特性を踏まえ、事業の目的について適切に理解した上で、事業実施に当たっての基本的な考えが的確であることを期待する。 ・周辺地域や地元に関わった廃棄物処理施設としての整備・運営の事業方針が明確であることを期待する。	3点 3点	
2	設計・建設及び運営・維持管理業務に関する事項					35点	
(1)	安心・安全で安定した施設	ア 施設の安定稼働	① 基本性能の維持	2	・施設の維持を考慮した点検、検査、補修、予防保全の各対応について、計画性と妥当性を期待する。 ・30年以上にわたる本施設の使用を前提として、強靱な施設とする工夫とライフサイクルコスト削減のための方策について、計画性と実効性を期待する。 ・寒冷地対策について設計面の妥当性を期待する。	3点	
			② 処理システムの信頼性	3	・人口の減少や3Rの推進、施策や法改正に伴うごみ量の減少や、災害廃棄物の発生等に伴うごみ量の変動に対応できる設計面、運営面での計画性と妥当性を期待する。 ・エネルギー回収型廃棄物処理施設において、要求水準書で示したごみ質に対応可能なシステム構築と、そのごみ質変動に対して良好な燃焼状態を維持できることについて、計画性と実効性を期待する。 ・エネルギー回収型廃棄物処理施設、マテリアルリサイクル推進施設において、安定・安全運転に対する運転管理方法の妥当性を期待する。 ・マテリアルリサイクル推進施設において、要求水準書で示した処理対象物を確実に処理し、資源物を回収するための処理システム（前処理作業、破砕設備、選別設備）について、計画性と実効性を期待する。 ・新潟県地域防災計画、及び構成市町の災害廃棄物処理計画に基づいた災害廃棄物の処理について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。	4点	
			③ 日常の運営・維持管理	4	・日常の維持管理で実施する外構・植栽・調整池・造成法等の管理、清掃（頻度、箇所）、処理施設内の整理整頓等について、計画性と妥当性を期待する。 ・運営・維持管理期間中における搬入車両の混雑発生時、悪天候時、夜間のトラブル発生時等における対応について、計画性と妥当性を期待する。	1点	
		イ 施設の安全性	①	トラブルの未然防止・事後対策及び非常時の安全確保	5	・災害、緊急時において、迅速かつ確実に対応できるような事業継続計画の妥当性を期待する。 ・緊急避難時における見学者、施設利用者及び作業員の安全確保方策について、計画の妥当性を期待する。 ・安全管理に関し、設備の安全性確保、人の不安全行動への対応及び管理組織の編成について、設計面、運営面での計画性と妥当性を期待する。 ・爆発事故対策や火災に対して、過去の事例、リチウムイオン電池等によるトラブルへの対策を含め、プラント、建築等、本施設全体で適切かつ万全な予防保全、検知、事後対処方法について、計画性と妥当性を期待する。 ・建設時及び運営時におけるトラブル・不具合に対する対応（協議、確認方法、費用負担）について妥当性を期待する。	4点
		ウ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	6	・敷地条件を踏まえた全体配置計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・多様な搬入出車両に対し、安全かつ円滑な計量システムの構築を期待する。	3点	
			② 屋内配置動線計画	7	・エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設における受入供給設備、待車、貯留、選別、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。	3点	
	エ 建設関連	① 施工計画	8	・建設期間の確実な遵守に対し、具体的な工事工程とそれを実現するための創意工夫に実効性と妥当性を期待する。	1点		
	② 建設工事期間中における環境保全対策	9	・建設工事期間中における環境保全対策に、計画性と実効性を期待する。	1点			
	(2) 環境に配慮した施設	ア 周辺環境との共存	① 地域の環境保全	10	・排ガス基準を確実に遵守するための対応について、実効性と妥当性を期待する。 ・騒音・振動、悪臭について、プラント設備の稼働に伴う周辺環境への影響を極力防止するための方策の実効性と妥当性を期待する。	4点	
			② 二酸化炭素排出量の削減（定量評価）	11	・地球温暖化対策に寄与するため、二酸化炭素排出量が最小化されていることを期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{最も少ない二酸化炭素排出量}}{\text{当該二酸化炭素排出量}}$	1点	
	(3) エネルギーと資源の有効活用に配慮した施設	ア エネルギーの有効利用	① 発電効率及び余剰電力量（定量評価）	12	・電力系統への接続条件を踏まえたボイラ蒸気条件設定及び定格発電出力、発電効率の最大化に妥当性を期待する。 ・運営時の使用電力の削減、稼働炉数の考え方や電力系統への接続条件を踏まえた制御のノウハウによる余剰電力量の最大化に期待する。 ・年間を通じた安定的かつ効率的な発電計画について妥当性を期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{当該余剰電力量}}{\text{最も多い余剰電力量}}$	2点	
			イ 環境負荷低減	① 省資源、省エネルギー	13	・省資源に関する低環境負荷材料の使用の考え方（使用品目、量等）について優れた提案を期待する。 ・省エネルギーに寄与する機器の採用等の考え方及び想定される効果について優れた提案を期待する。 ・建築の断熱性能の向上について、計画性と実効性を期待する。 ・計画ごみ搬入量を踏まえた運転計画・補修計画に基づき、効率性、経済性を踏まえた用収支計画について実効性と妥当性を期待する。	1点
ウ 最終処分量の低減		① 資源化量（定量評価）	14	・本施設において回収される缶、びん、プラスチック製容器包装、金属類等の資源物について、資源化量の最大化に期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{当該資源化量}}{\text{最も多い資源化量}}$	1点		
		② 最終処分量（定量評価）	15	・本施設から発生する最終処分量の削減に寄与する設計面での創意工夫を期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{最も少ない最終処分量}}{\text{当該最終処分量}}$	2点		
(4) 地域に密着した施設	ア 周辺環境への配慮	① 周辺環境との調和	16	・周辺環境と調和したデザインを期待する。 ・緑化の内容及び樹種の選定について、周辺環境に調和した計画を期待する。	2点		
		イ 環境学習計画	① 地域の活性化と環境学習拠点	17	・環境教育に関する校外学習として訪れる小中学生の他、訪れる様々な見学者に対応した環境学習プログラム、見学ルート（見学者動線）、引率・説明方法、見学窓の配置等について、計画性と具体性を期待する。 ・安全性を配慮した見学ルートを期待する。 ・見学設備及び環境学習プログラムに対し、社会の変化に即応した対処や方策に期待する。 ・見学者が体験を通じて、学習できるプログラムを期待する。 ・環境啓発イベントやワークショップ等の対応に優れた提案を期待する。	2点	
3	事業計画に関する事項					22点	
(1) 信頼性の高い運営管理体制	ア 組織体制	① 組織体制・人員配置計画	18	・組織体制及び運営管理体制において、各々の役割分担が明確であり、適切な人員配置であることを期待する。	3点		
		イ 事業の継続性の担保	① 事業収支計画、協力体制	19	・運営・維持管理期間20年間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画を期待する。 ・代表企業等による、SPCに対する支援体制及び支援策等（人的支援・技術的支援・財政的支援）について、実効性を期待する。	3点	
		ウ リスクの管理及び対処方法	① リスク管理及びセルフモニタリング	20	・リスク顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化を考慮するリスク管理方針及びリスク管理体制に計画性と実効性を期待する。 ・セルフモニタリングの実施内容、頻度、報告内容等について、計画性と実効性を期待する。 ・付保する保険内容について妥当性を期待する。	3点	
(2) 地元企業や地元住民への配慮	ア 地域貢献	① 地域経済への配慮	21	・本事業の実施に際して、本地域内に本店等を有する地元企業（入札公告以降において設立された企業は認めない）の活用に最大限配慮した計画となっていることを期待する。 ・地元企業の活用や地元調達を考慮した提案を期待する。 ・地元住民の雇用に配慮した提案を期待する。	2点		
		② 地域経済への配慮（本店又は本社）（定量評価）	22	・本事業の実施に際し、地域経済へ最大限配慮した地域貢献金額（本店又は本社。なお、地元人材の雇用は除く）となっていることを期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{当該地域貢献金額（本店又は本社）}}{\text{最も高い地域貢献金額（本店又は本社）}}$	5点		
		③ 地域経済への配慮（支店又は営業所）（定量評価）	23	・本事業の実施に際し、地域経済へ最大限配慮した地域貢献金額（支店又は営業所。なお、地元人材の雇用は除く）となっていることを期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{当該地域貢献金額（支店又は営業所）}}{\text{最も高い地域貢献金額（支店又は営業所）}}$	2点		
		④ 地域経済への配慮（地元人材の雇用）（定量評価）	24	・本事業の実施に際し、地域経済へ最大限配慮した地域貢献金額（地元人材の雇用）となっていることを期待し、次の算定式による得点（小数第3位を四捨五入）を付与する。 $\text{得点} = \text{配点} \times \frac{\text{当該地域貢献金額（地元人材の雇用）}}{\text{最も高い地域貢献金額（地元人材の雇用）}}$	2点		
		⑤ 地元経済の活性化	25	・地元の宿泊業や飲食サービス業の積極的な利用等、地元経済の活性化に寄与することができる計画となっていることを期待する。	1点		
(3) その他	ア その他の提案	① 本事業への有効性	26	・最新技術の導入等、その他本事業にとって有効な提案を期待する。	1点 1点		

第5章 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うに当たり、入札参加者に対してヒアリングを行う。
ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。